

スポーツの盛んなまち

市では、味の素スタジアムをホームスタジアムとしているサッカーチームのFC東京、調布市をホストエリアとするラグビーチームの東芝ブレイブルーパス東京、東京サントリリーサンゴリアス、協働協定を締結した読売巨人軍等のトップスポーツチームを中心に様々な連携事業を実施し、市民のスポーツへの関心や、日常的にスポーツに親しむきっかけを創出しています。



東芝ブレイブルーパス東京 優勝報告会



読売ジャイアンツ 小学校訪問



FC東京青赤ストリート

「スポーツの盛んなまち」についてもっと知る



MUSASHINO FOREST SPORT PLAZA



武蔵野の森総合スポーツプラザ



東京スタジアム (味の素スタジアム)

観光・歴史・文化

深大寺 じんだいじ

733年に開創されたと言われる深大寺は、平成29年に国宝指定された釈迦如来像(白鳳仏)などの貴重な寺宝で知られています。

「深大寺」についてもっと知る



調布花火

多摩川で開催される調布花火。実はその歴史は古く、初めて開催されたのは昭和8年のことです。その後、昭和57年から調布市花火大会としての歴史が始まりました。ノンストップで打ち上がる約10,000発の花火が、調布の夜空を彩り、調布名物として親しまれています。



調布花火

JINDAIJI



国宝 深大寺 釈迦如来像(しゃかにょらいそう)



深大寺そば



深大寺

映画のまち調布

調布市は、昭和初期に撮影所が設立されて以降、「映画のまち」としての歴史をあゆんできました。市では、市内の映画・映像関連企業・市民団体との連携を図りながら、映画・映像を「つくる」、「楽しむ」、「学ぶ」をテーマに、積極的なロケ支援や多くの事業を展開しています。

「映画のまち調布」についてもっと知る



水木マンガの生まれた街 調布

「ゲゲゲの鬼太郎」で広く知られる調布市名誉市民・水木しげるさんは調布の地で多くの作品を生み出しました。その功績をたたえ、命日である11月30日を「ゲゲゲ忌」と命名し様々な催しを行い、多くのファンが訪れています。

「水木マンガの生まれた街 調布」についてもっと知る



©水木プロ



つくる



楽しむ



学ぶ



山崎貴監督にインタビュー

「市報ちょうふ」新春特別号にて、市内にある映像制作会社「白組」の山崎貴監督にインタビューを実施。映像制作の魅力や話題作『ゴジラ-1.0』の作成秘話等をお伺いしました。



「市報ちょうふ」新春特別号



フィルムコミッション

テレビ・映画などの撮影支援(フィルムコミッション)を積極的に行うことで、ロケを通じた観光振興(ロケツーリズム)を図っています。その一環として、人気ドラマなどのロケ情報に加え、観光・グルメ情報などを掲載したロケ地マップを発行しています。

